

Changing the World One Life at the Time

～ひとつの命から世界を変える～



「元気な子どもたち！」

昨年8月より開始したスーダン南部事業。早く現場に行ってみたくて思っていたものの、なかなか時間が取れず、ようやく今年4月に訪問することができました。

とにかくスーダンは暑い！ 日中は40度を越える日も多く、その上乾燥しているの、まるでオーブンの中にいるようです。数日後には鼻の粘膜がやられ、鼻をかむと血が出てくるほどでした。

3週間の短い出張中に、事業地を含む5つの町を訪問するという過酷なスケジュール。3日に1回は飛行機に乗っていたように感じます。スーダンはアフリカ大陸で最も面積の広い国。そもそも開発が遅れていた上に、長い紛争の影響で道路整備もされていません。

9人乗りの小型飛行機での移動が主流ですが、滑走路も土が盛ってあるだけ。雨が降ると利用できず、陸の孤島です。

日々の食べ物や飲料水の確保などが難しいにも関わらず、平和を取り戻しつつある故郷に、大勢の人々が帰還を始めています。出張中には、多くの帰還民に出会うことができました。その中でも印象に残ったのが子どもたちの笑顔とエネルギー！ 暑さにめいている私たちと裏腹に、元気いっぱいでした。家族の多いスーダン人ですが、お兄さんやお姉さんが弟や妹の面倒をしっかりと見ており、感心してしまいました。

今回の出張で、スーダンの子どもたちからたくさんのエネルギーをもらいました。私も2児の母親です。世界中の子どもたちが笑顔で毎日暮らせるよう、これからも支援活動を続けていきたいと思えます。「本事業の進捗報告は当団体HPをご覧ください」

～ ADRA JapanはJPF・UNHCRと協力し、アッパーナイル州において帰還民支援をおこなっています～

「それぞれみんなができること」

～ モンゴルでボランティア！ ～

4月号でもお伝えしましたが、ADRA Japanでは毎年2回、大学生・社会人を対象に海外ボランティア事業をおこなっています。今年はモンゴルのウブス県(モンゴル西部)で、学校の寮の整備活動をおこないます。現地では、ゲル(モンゴルの移動式テント)の中での共同生活、現地の人々との交流、国際協力ワークショップ等を予定しています。大自然の中で、国際協力について考えてみませんか？



期間：2007年8月18日(土)～9月1日(土)
場所：モンゴル、ウブス県
参加費：27万円
募集人数：15人
フライトスケジュールによる日程変更あり。



応募方法：参加希望願書(当団体HP参照)を記入の上、郵送・FAX・E-mailでお送り下さい。
応募締切：2007年7月10日(火) 消印有効

詳しくは当団体HP、または東京事務所にご連絡下さい。



特定非営利活動法人ADRA Japan
150-0001 東京都渋谷区神宮前1-11-1
TEL: 03-5410-0045 FAX: 03-5474-2042
URL: <http://www.adrajpn.org>
E-Mail: tokyo@adrajpn.org

正式名称はAdventist Development and Relief Agency Japanといわれ、本部をアメリカ・メリーランド州に置き、世界約120カ国に支部を持つ国際NGOの日本支部です。人種・宗教・政治の区別なく「人間としての尊厳の回復と維持」を実現するため、全人的援助と自立を図る支援を継続しており、その活動は、食糧確保・経済開発・医療援助・緊急救援・教育を5本柱としています。